

種々

岩木山虹農園便り 58号

発行元 岩木山虹農園
弘前市葛原字大柳 171-1
TEL 090・3757・8174
Email oiwaki2021@outlook.jp
文責 前田 尚人

岩木山が赤く色づいています。霜降の時期にふさわしく十月二十日から最低気温が六℃前後になり、雪がちらつくのも近いようです。
稲が刈られてがらんとした田圃は静かになりました。春から夏に働いた様々な体験と人との出会いの記憶はいつた心の底に沈み、熟成されます。夜も長くなり活動は少しづつ鎮まっていますが、人の思考自体は活発な「春」になったと言えます。物思う晩秋に近づきます。



第十回 配達

大蔵大根

大根の肌が荒くなつたので、例年植えていた大根畑を移動しました。大根菜は煮物や漬物に。



里芋(土垂)

里芋はジャガイモと同様、「根」ではなく地下茎が肥大した塊茎です。様々な栄養がありますが、消化の段階で糖分に変えるのにエネルギーを必要とします。ですから食べると少しぼうつとします。
美味しい里芋を食べて満足して、のんびり過ごす。しあわせです。

黒田五寸人参

人参や蕪、大根は実全体が「根」です。根のものは頭に働きかける力があるといわれます。物思い、考える秋に相応しい。



金町小かぶ

例年、小かぶはみやま小かぶでしたが、「おしり」がきれいなならないので、この固定種を栽培してみました。蕪菜も美味しい。



春菊

卵でとじていただくのが好きです。もちろん鍋物に合います。

南瓜(デリシヤス南瓜 or かちわり南瓜) 個人的な南瓜の煮方

- ① 南瓜を切って鍋に敷く。
- ② 南瓜の高さと同じくらいの水を入れ、砂糖と微量の塩を入れる。
- ③ 南瓜の嵩に合わせて中火で16分
- ④ 火を止め、そのまま5分待つ。

※砂糖を摂取しない方もいらつしやるでしょうし、鍋の大きさ等が変わると思います。



渋抜き柿

二回目です。糖度が少し低いです。来年は栽培面積を増やします。

四月しろ菜

来年は栽培面積を増やします。

ステラミニトマト

● 白菜はまだ結球しないので次回配達します。
● 例年お配りしている「胡桃」は温暖化の影響で木全体が外來種の虫に食べられ収穫できませんでした。結球の途中



第十一回配達予定 十月三十一日(金) 予定品目

白菜 大根 蕪 人参 等
● 白菜次第で、配達が十一月七日になる可能性もあります。

自然栽培を行う意味

お米の乾燥、籾摺もみすりをお願いしている農業法人の会長さんとゆつくり話す機会がありました。こう質問されました。「前田さん。自然栽培で田圃をやるメリットって何かあるのか。」

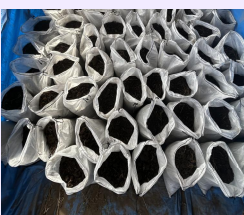
昨年は農協が米を出し渋るので米が高くなっているという批判が噴出しましたが、実際は農協にもお米がなかったのです。そこで今年になって農協は、肥料、農薬、除草剤を活用した多収量のお米を自然栽培並みの価格で買付け、集めています。

一方自然栽培では、田植えから収穫まで除草(手除草もふくめて)で苦勞しても収獲量が少ない。会長さんの質問は、その状況で経営上の収入のメリットがあるのか、ということでした。もつともな考えですし、自然栽培のメリットを再確認する機会になりました。

自然栽培を行う個人的なメリット

① ネオニコチノイド等の除草剤による健康被害を避けられる。食べる人のおいしいという満足感と健康を支えることができる。

② 圃場の環境が年々自然状態に近づいていき、人が生きる環境にも寄与できる。場が清められ、栽培している時の気持ち前向きで穏やかになる。これは得難い。



育苗土(田圃の土)